

南街公民館・市民企画運営講座 街づくり懇談会

「先取り！ 子育て情報」

● 第三回「子どもの第3の居場所」

市民企画運営委員

2024年2月20日

2023年度第三回講座が、2月20日に南街公民館202号室で開催されました。連続5回の講座の中で、保育付きの子育て情報講座の、第3回目です。本日は、講師や運営委員を含め12名の参加者となりました。講座内容は以下の通りです。



- テーマ:「子どもの第3の居場所」(10:00~12:00)
- 講師:小松 歩 氏(白梅学園短期大学保育科教授)
- 内容:いろいろな安心のために知っておきたい第3の居場所について知る。

東大和市南街公民館 講座

「先取り！ 子育て情報」

第3回「子どもの第3の居場所について
—子どもの安心のために—」

白梅学園短期大学 小松 歩
2024年2月20日



「子どもの権利条約」 一般原則



・生命、生存及び発達に対する権利 (命を守られ成長できること)

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などが保障されます。

・子どもの最善の利益 (子どもにとって最もよいこと)

子どもに関することが行われる時は、「その子どもにとって最もよいこと」を第一に考えます。

・子どもの意見の尊重 (意見を表明し参加できること)

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

・差別の禁止 (差別のないこと)

すべての子どもは、子ども自身や親の人種、性別、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

ユニセフ(子どものための国連機関)による「子どもの権利条約」の4つの原則。

日本は1994年に批准し、「こども基本法」にも取り入れている。

子どもの居場所とは？

人間には、自分の生活に関して自由に選択していく権利がある。しかし、子どもは、生活する上で周囲の大人を頼る必要がある。大人は社会の中に子どもの居場所を確保することが大切であり、居場所の確保は、子どもの権利を守ることといえる。

自宅・家族
友だち

保育所
幼稚園・学校

児童館
子育て広場

子ども食堂
プレーパーク

東大和市の例

子ども家庭支援センター
(かるがも)
七森プレイパーク
れんげ学園 など

自宅		幼稚園・保育所・小学校・児童館・かるがも			
1960年代 ・けんけんぼ ・メンコ ・缶蹴り ・釘刺し(陣取り) ・栗拾い ・人形遊び ・ままごと、マンガ ・人生ゲーム ・ダイヤモンドゲーム	1990年代 ・花札(親)・マンガ ・積み木、人形遊び ・ゴム跳び(家の前) ・フラフラ ・縄跳び(友だちと) ・(木や電柱に結び) ・土管でかくれんぼ ・ドンジャラ ・人生ゲーム ・○×ゲーム ・シャボン玉	2000年代 ・パズル、積み木 ・ブロック、お絵かき ・折り紙、人形遊び ・牛乳パックで作る(仮面ライダーベルト、自動改札) ・TVゲーム、ボードゲーム(家族で) ・社宅のコミュニティ ・UNO、トランプ ・おやつ	1960年代 ・絵抜き ・型抜き(粘土) ・習字 ・魚つり(多摩川) ・トランプ、おはじき ・お手玉 ・六ムシ、縄跳び、大縄 ・花いちもんめ、ゴム段 ・焼き芋やさんの手伝いで友達と小枝拾い	1990年代 ・校庭の遊具 ・学校帰り道 ・パンぺん草鳴らし ・花の蜜吸い、ピワ ・木登り ・かくれんぼ ・ドッチボール ・ハンカチ落とし ・花いちもんめ	2000年代 ・泥遊び、歩け歩け遠足 ・ドレス着せ替え ・スポーツチャンバラの型の練習 ・幼稚園(おしるこ会 夏祭り、プール、大縄 ・鬼ごっこ、かくれんぼ、花いちもんめ、棒登り、うんてい ・小(どろけい)、ドッジボール、シール帳 ・ペン回し、練り消し
子ども時代遊び場マップ					
近所の公園等		その他			
1960年代 ・かくれんぼ(忠霊塔) ・野球 ・エンジン飛行機 ・滑り台、ブランコ ・空地(背の高い雑草で秘密基地) ・お茶畑で段跳び ・桑の葉を採り虫を飼う ・塀の上を歩く	1990年代 ・砂場で落とし穴 ・友だちの家の前 ・石蹴り、ボール蹴り、缶蹴り ・キャッチボール(父、弟と) ・花の蜜、おしろい花の種を顔につける	2000年代 ・砂場、滑り台 ・お花見 ・木登り ・自転車練習 ・庭のような所で、ポケモン人形で戦う	1960年代 ・隠れ家(材木置場・防空壕) ・多摩湖で落ち葉散策(早朝) ・ニッ池(ザリガニ釣り) ・雑木林(クワガタ、カブトムシ採り)	1990年代 ・車で公園へ ・長いローラー滑り台 ・弟の野球練習場 ・駄菓子屋 ・カラオケ ・カブトムシ採り ・ローラーブレード ・どぶ川探検 ・ピアノ、エレクトーン ・習い事	2000年代 ・習い事 ・スポーツチャンバ合気道 ・科学館、美術館 ・冒険(弁当持参で、土日) ・自転車で遠出 ・ドッジボール、縄跳び ・習い事 ・プール、ピアノ、体操、バレエ、習字

前回(第2回の講座)で発表された、参加者が子ども時代に体験した遊びの一覧。同年代で遊ぶ、年上の子どもが年下に教える、親が子に経験させるなどのパターンがあり多種多様。

みえにくい貧困 相対的貧困

1日 2.15ドル未満の生活

「絶対的貧困」:

人間として最低限の生存を維持することが困難な状態
飢餓に苦しんでいた、医療を受けることが
ままならなかったりする人がこの状態に当たる。

「相対的貧困」:

その国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態
子どもの貧困率とは、相対的貧困の状態にある
18歳未満の子どもの割合。

日本では

(大人の相対的貧困率)

127万円未満の所得が基準で
15.4%、6.5人に1人。

(子どもの貧困率)

11.5%、9人に1人(2021年)。

生活困難世帯では一般に比べ、持ち物の差は無いが、体験・経験面では差が。逆境を乗り越える力も弱い。



次回(2月27日)見学
予定の第3の居場所
「しいのみハウス」(三
鷹市)の紹介。
角間雅子氏

以上